

教育委員会教育長あいさつ



三次市教育委員会 教育長
松村 智由

三次市教育委員会では、三次市の教育がめざす子ども像「ふるさと三次を愛し、誇りに思い、夢をもち学び続ける力と社会の一員として積極的に貢献する志をもった子ども」の実現に向け、様々な施策を推進しています。

平成28年度においては、特に「小中一貫教育の充実期による確かな学力の向上」や「オンリーワンの特色のある学校づくり」、「外国語教育の推進」、「教育環境の整備」、「文化・芸術の振興」などに重点的に取り組んでいます。

「小中一貫教育の充実期による確かな学力の向上」については、平成27年度から小中一貫教育の充実期と位置づけ、2年目を迎えている中で、充実してきた具体的な姿が3つあります。①各中学校区教職員の意識向上②不登校児童生徒数の減少③学力の向上です。これは、義務教育9年間を意識して学校・家庭・地域が「縦と横」の連携に取り組んできた成果です。三次市は、少人数の学級編成や少人数習熟度別指導を実施するため、独自に「市費教員」を採用して、児童・生徒一人ひとりの「基礎・基本」の定着を図っています。

「オンリーワンの特色ある学校づくり」については、地域や学校の実態に応じた、独自の豊かな教育内容の創造や教育活動への支援の充実を図っています。昨年度から小中一貫モデル指定校である吉舎中学校区では、児童生徒に「自学力（夢をもち自ら学び続ける力）」育み「吉舎を教育の力で元気に」しようと、新たに保小中高合同の「吉舎音楽祭」、クリーン活動をはじめとしたボランティア活動を地域とともにを行っています。これらの活動を通して児童生徒に、自分の良さに気付かせたり、次の学びへの意欲を向上させたりしています。また、甲奴中学校区では、「山里から世界へ」をテーマに、アメリカス市（アメリカ合衆国）との交流事業も活用しながら、小学校から中学校への9年間を貫いた英語力の向上に取り組んでいます。

「外国語教育の推進」については、『小中学校外国語教育推進事業』として、外国語指導助手（ALT）を増員し、市内すべての小学校1年生から外国語活動を進めています。さらに今年度から『がんばる中学生の英語学習応援事業』を新設し、実用英語技能検定の受験機会の拡大による中学生の英語力や学習意欲の向上を図るため、英検3級以上の検定料を全額補助することとしました。「教育環境整備」については、小中学校のエアコン設置等により学習環境を整備し、学力の向上を図ります。「文化・芸術の振興」については、三次市民ホールでの発表や芸術鑑賞、奥田元宋・小由女美術館をはじめとする市内の美術館や資料館を有機的につなぐこと等で文化・芸術の創造や育成、発信を図ります。さらに、三次市の宝である文化財や歴史を、市民の皆さんが楽しめる体験事業やわかりやすい説明を広報誌等に掲載することで、文化財の保護や地元三次を誇りに思っただけの気持ちを醸成していきたいと考えています。

今年度も、三次市の教育に対し皆様のご支援ご協力を賜りますよう、お願いします。